

～2022年に170周年を迎えます～

「耐久」とその歴史

本校は、「稲むらの火」の伝説のモデル、濱口梧陵翁らが1852年（嘉永5年）に創設した私立の学舎「耐久社」に始まり、県内では最も歴史が長く、全国でも屈指の歴史と伝統を有します。
「耐久」には「永続」の願いが込められ、これまで、国や社会の在り方が変わり、戦災や津波等の自然災害を被りながらも、「耐久」の文字は消えることなく、高い志をもった卒業生を送り出してきました。約3万人になる卒業生は、有田地方、県内のみならず、全国各地で、様々な分野において活躍しています。



創立150周年を記念して校内「耐久の杜」に設置された濱口梧陵像

受け継がれる精神

〈校訓〉

真健美

「もの見方や考え方をしっかり身につけ、人としてどうあるべきかやどうすべきかを判断し、たくましく健康的に生きる」、人間として必要なバランスのとれた力の育成を目指しています。

..... 教育目標 『耐久生の品格と活力を高める』

育てたい生徒像

- 人や社会のために汗をかき、労を惜しまない人
○ 地域の様々な分野で、指導力を発揮するリーダー



学び合い、理解を深める



プレゼンテーション能力を養う

Enjoy Your School Life in 耐久!

夢を実現する力をつけよう

- ★各科目の合格ラインを50点から30点に変更しました。
★日頃の頑張りを大切にすバランスの良い評価を行っています。

自分の意志で積極的に取り組む

学校行事を楽しもう

- ★充実感、達成感を味わえるよう工夫しています。
★魅力ある学校行事を十分に楽しめます。

文化祭、クラスマッチ、ロングハイキングなど

部活動で活躍しよう

- ★はつらつとしたクラブ活動をめざします。
★独自プログラムで中学校と積極的に交流します。

交流プログラムでともに高め合う

皆さんの挑戦を応援します

1 将来の広い可能性につながる教育課程

●学力の基盤を固めるために、第2学年後半まで、全生徒がほぼ同じ科目を学習します。

令和2年度 教育課程表 (65分授業の2週間での回数)

Table with 3 columns (Year, Subject, Credits) for 3-year, 2-year, and 1-year courses.

2 特色ある取組で、進路の実現をていねいにサポート

- 意欲を高める企画
【志学ゼミ】 社会で活躍している先輩方から、生き方や社会との関わり方について学ぶ。
【夢ナビライブ】 夏季休暇中に、全国の大学合同説明会に参加する。



夢ナビライブ

- ICTを活用したみなさんが主役の授業
全てのHR教室で、工夫された効率的な授業に参加する。



3 クラスや学校全体の連帯感を高める数々の学校行事



ロングハイキング(高野山)



文化祭(中庭コンサート)

4 国際感覚を養うさまざまなプログラムを体験



世界津波の日 高校生サミットでのボランティア



アジア・オセアニア 高校生フォーラムでのラウンドテーブル



短期留学での交流

過去3年間の主な大学の合格者数(過年度生も含む)

Table listing university names and the number of graduates accepted.

Table listing private university names and the number of graduates accepted.

本校の沿革

- 一八五二 濱口梧陵、濱口東江、岩崎明岳の三翁が広村(現広川町)田町に稲占場を開く
一八五三 (ペリーが浦賀に来航)
一八四〇 十一月五日(旧暦) 安政南海地震、広村に津波
一八六六 広村大道に移動、永続を願って耐久社と称する
一八六七 (大政奉還)
一八八五 濱口梧陵、ニューヨークで病没
一八九二 耐久学舎と改称
一八九四 宝山良雄、倉長就任、「真美・健」の三綱領制定(日語競争発表)
一九〇八 私立耐久中学校と改称
一九〇九 有田高等女学校開校(一九四八)
一九一〇 県立に移管、和歌山県立耐久中学と改称
一九二二 創立七〇周年記念式挙行 小川琢治氏講演
一九三七 「稲むらの火」が国定教科書に採択
一九三九 (第 二次世界大戦勃発)
一九四五 (ポツダム宣言受諾(終戦))
一九四六 (新憲法発布)
一九四八 戦後の学制改革で和歌山県立耐久高等女学校発足(終戦後、視察に訪れた駐軍の将校が、ナゾの通を前にしている創始者、濱口梧陵の肖像画をみて感動し、校名がそのまま残ったこと(秘話がある))
一九五二 創立一〇周年祭挙行 全国相撲大会団体優勝
一九五九 理科数科設置(一九七八年)
一九七一 黒潮国体 ハドミンソン競技会場
一九七三 瀬藤泰三氏(旧中二回生)文化勲章受賞(アルマイトの工業化に成功し、電子顕微鏡の開発につくした。文化勲章は耐久高校で保管されている)
一九七八 バレーホール部 春の高校バレーベスト8(耐久旋風)
木下繁氏(旧中十九回生)制作プロントス像(栄)建立
一九七九 第一期長期留学生受け入れ
一九八〇 第一回ロングハイキング実施
一九八三 米田ケンブリッジ高校と姉妹校提携
一九八八 マントリン部(全国高校キタリスト) リンフェステイバル全国知事会賞受賞
一九九六 全国高校総合体育大会 男子砲丸投げ優勝
二〇〇〇 グローバル探究科設置(二〇〇六年)
二〇〇二 創立一五〇周年記念式典開催 濱口梧陵像建立 京都府立医科大学教授 酒井敏行氏(高校工四期)記念講演
二〇〇二 軟式野球部 秋季近畿大会優勝
二〇一一 (東日本大震災 福島原発事故)
二〇一一 創立一六〇周年記念式典開催 東京大学名誉教授 谷口維紹氏(高校十八期)記念講演
二〇一五 学校再生改革スタート 国連総会で十一月五日を「世界津波の日」に制定